（十一日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭・第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料二行五十錢指定廿錢增
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

論壇

繼足し譜請

日本人は非常に繼足し譜請の好きな國民性である。何事にも唯眼の前の一時の間に合はせで滿足する。之は一面より見れば常識的であり、漸進主義である、堅實なる足取りである。然し亦之を半面より見れば餘りに規模が小さく年中不足勝であり能率が一向上がらない。要するに島國根性であり大國民たるの襟度がない。

◇

その最も著るしき例は東京の水道工事、横濱の築港工事の如きが即ち夫れだ。折角設計を立てゝその工事か竣成しない内に早不足を告げて來る。一期、二期、三期とのべつに續足し譜請計りを遣つて居る。譜請中はガヤ〳〵と騷がしく少しも落着かない。東京市中の道路工事、製造會社の工場建築、大抵皆この筆法である

◇

眼光豆の如き人間がこの騷々しい間を如何にも忙しさうに働いて居る成程忙しいことは事實に相違ない。然し夫は只徒らに忙しい計りでその間に統一がなく、制節がなく、能率は半減し成績は劣等となる結局國家の大損失だ。今少し初めから規模を大にし百年の大計とは行かなくとも切めて二三十年先位の計畫はあつて欲しいと考へる。

◇

然し我輩が玆にこの問題を論ずるはかゝる物質的事業に就ての不平ではない。この繼足し譜請的姑息主義が政治運用の上にも現はれ例へば今度の共産思想狩の如きも甚だ不徹底なる儘にて打切られれとする傾きが見える。若し現在の如く蛇の生殺しに終るならばその結果は却て恐るべき不祥事を招來するに至るかも知れない。

◇

夫よりも尚更厄介な問題は對支政策だ。一體日本の外交には根本國策なるものかない。之こそ全くの繼足し譜請式だ支那の某大官は云ふ「日本の外交々渉は何時でも鼠が餅を引つ咬ぢるやうにチビ〳〵とのべつに遣つて來る。實にうるさくて耐らない」と。既に滿蒙の懸案丈けでも百三十餘件はあらうと學良總司令閣下すら云つて居る

◇

支那の時局が一段落を告げ、愈々先方の準備が整つたとなれば夫から勝負々々と名乘りを上げてこの百三十餘件の紙屑を撰げ丹念に講釋を始める考へらしいが之は實に大だわけの話である、迚も勝てる見込はない何故モット大所高所に立脚して雄大なる問題を提げ馬を陣頭に進めない乎横から觀て居ても全く齒痒くなる計りだ。

平町田町通り
磐城病院
電話一一四番

文藝

自動車ローマンス（終）

北島聰一

自動車の發達は時々悲喜劇を引き起す、一時自動車がどん〳〵殖ねて人力車夫が失業したこれは由々しい死活問題だと彼等が騷ぎ出した、成程食へなくなる程悲惨なものはない、併し一面に於て自動車の激增により部分品を賣るサービスが四五軒、ガソリンを供給する販賣店が出來修繕工場が五六軒、それ、タイヤー修繕店の新しい職業が生れ、運轉手やこれ等の店の從業員等を合せたなら人力車夫の幾層倍かに當つてゐる筈である、矢張り時代の推移には敵し難いと言ふ事を我々は痛切に感ずる、自動車がかく殖ねるのは一面喜ぶべき現象であるけれ共、毎日往來を走る自動車をよく注意して見ると一臺として國産自動車がない、その九割九分迄は米國製であり其の大部分はフオードとゼネラルモータースの製品であるから悲觀せざるを得ない統計の示す處によると日本全國の自動車數は五萬臺に少し足らないと言ふゼネラルモーター會社一ケ月の生産高は最近の調査によると十五萬臺を突破すると云ふから日産約五千臺十日間で日本全國の自動車が製造せらるゝわけである、如何にその事業が大資本を要し大規模であるかがこの一事によつても大体察知する事が出來よう、それ丈日本には不引合であり發達が遲々として進まないわけである。

× × ×

歐洲大戰後堤防を破つた奔流の樣に日本に流れこみ何時の間にかどんな山村水廓の僻地に迄も入りこんだものが二つある、それは自動車に活動寫眞である、今日どんな田舍へ行つても汽車を知らないものがあつてもこの二つを知らないものはあるまい、ブル階級の專有物とされた自動車もそれ程贅用化し民衆化して來たのである、

話しは一寸横道にそれるが近頭産業の合理化運動と言ふのが喧ましく叫ばれて來た、合理化運動と言ふのは簡單に言へば成る可く生産の順序を簡單にして費用を少くして出來る丈多くの商品を製造して價格をずつと引下げ不景氣によつて減退しつゝある購買力を起し僅少な利益ではあるが數を多く消化し相互に利益を得やうとする方法である、今頃日本でやかましく騷ぎ立てゝゐるけれ共、アメリカのフオードはずつと以前からこの合理化による大量生産を實行し一代にして四十億と云ふ世界第一の自動車成金に成りすましてゐる、フオードの事は既に世間衆知の事實であつて今更取立てゝ言ふ程でもないが鬼に角彼が世界の市場を一人で引掻き廻し彼の一顰一笑によつて世界の自動車價格の騰落がきまると迄言はれたものである、併しさすがのフオードも二三年以來シボレーと言ふ強敵が現れ猛烈な販賣戰が世界各所で演せられ値段が段々下つて來た、このシボレーの出現によつてフオードも製作上に大革命を起しそれが昨年末新形フオード自動車として市場に現れたのである、この新形フオードが全世界の自動車工業界に一大センセイションを引き起した事は今更言ふ迄もない、或科學者は「蒸汽機關は最早行詰つてゐる今日ではガソリンモーターの時代と云つても決して過言であるまい」と言つてゐる、交通機關の王樣陸上の汽車海上の汽船は既に陸の自動車空中の飛行船と變りつゝある自動車の發達は前途遼遠と言ふべく自動車運轉手の失業は夢にしくも望まれぬ世の中になるかも知れない。

（終）

明日の吉凶

舊暦五月二十五日
新暦七月十二日

▲一白　外交には勝利を得がたきも五分〳〵滿足せよ▲二黑　何事にも平和を願かつ人先に立たぬが安全▲三碧　沈みたる氣分も追々と晴やかに成り行くべし▲四緑　内にありて精勵せば幸運なる日となるべし▲五黃　元氣湧くが如く無理と思ひし事も成るべし▲六白　氣乘りせねども利は薄くとも怠るまじき日▲七赤　生氣溌溂たる日多少の障碍に逢ふも進むべし▲八白　天を罵るものには成功なし自らを責よ▲九紫　浮薄に流れず實數目的に進むべき發展日

吉田眼科醫院

講談

闇に閃く男達

(137)

高田　涙川作
尾崎　雪麿畫

義士の討入

金五郎初め四人の者は松坂町へどん〳〵かけてくる雪のあかりが味方のたいまつ同一体の火事裝束襟には播州赤穂の浪士何の某、行年何歳君恩の爲め討死するを記し山鹿流の陣太鼓に手足の如き働きは實に見る目も心地よい有樣金五郎らはじつと向ふを見てあれば前方に立てるは正しく大將大石内藏之助良雄である、金五郎は馳けより

「大石樣村雨金五郎にござります」

大石は「ウム」とうなづいたまゝ互の胸は千萬無量、そのまゝそこを分れ一丁ばかり引下り、もしや加勢の人數が表はれし時はイデこの金五郎が引き受けくれると、四方八方に眼を配つてゐる折柄うろ鉢卷にたすきを十字に綾どり槍を小脇に抱ね込み雪をけたてゝ宙を走つて來る一人の武士があつた

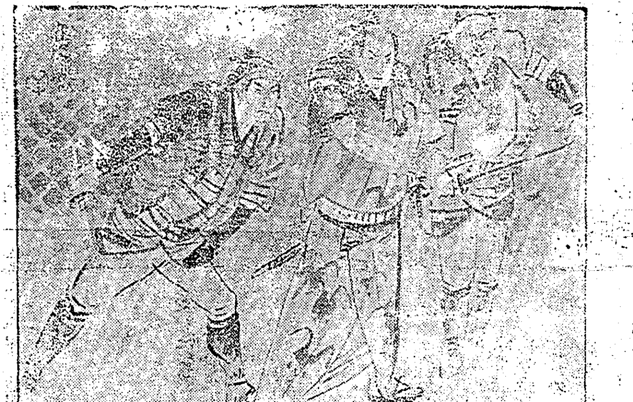
「ソレ怪しい武士、あれは浪士ではあるまい引きとめろ！」

金五郎が命を下した

「まてつ！」

と新吉が聲をかけたがナカ〳〵止りそうもない、新吉が怒つて

「ウヌ！待たねねかッ！」



襟首掴かんで引き戻そうとした

「エーッ！」

武士は一聲さけんで新吉を二三間投げとばした

金五郎は大いに怒りさてこそは上杉の加勢ならんと一刀を拔き立ち向つた

「汝等は上杉家の加勢のやつ原だな赤穂浪人の爲め義によつて助太刀いたす、俵星玄番の槍先を受けて見よ」

武士が槍をしごいたさては當時槍の名人と云はれる俵星先生であつたか

「いやわれ〳〵は決してそう云ふものぢやございません、町奴、村雨金五郎と申すもの、いさゝかながら赤穗の浪士に力を添ねんこれ迄參りし者でございます」

「ツム上杉家の人數ではなかつたか然らば許してやる」

こうなるとどちらがどちらかさつぱりわからねえ、玄番はそのまゝ行つてしまふ、夜は次第に更け渡る、吉良邸内の劍げきの響はよく聞えてくる

「どうだ新吉、政、いゝ威勢じやねわか」

「本當に勇ましいものだ入れるものならせめて一足丈でも」

馬鹿を云へそんなことをすりや浪士の忠義が無にならあ」

話してゐる折吉良の邸内よりとび出した一人の武士がある、ソレッ！と金五郎が聲をかけると新吉と政吉が前へ立ちふさがり新吉は襟首つかみ引き戻さんとした相手の武士は小刀拔く手も見せず新吉の横腹目がけてエイッと突き込んで來た新吉は

「何をッ！」

と体を變しドンと一つつくヨロ〳〵とよろめきながら逃げ出さんとするを政吉が横腹へあて身をくれたからウンとその場へ倒れてしまつた

「親分こやつ何でせう？」

「大方吉良家の武士で上杉家へ注進に行くやつであつたら、上杉家へやらしては大變だつたが、こゝで引返せたら何よりだつた、大石樣へ御恩の萬分の一が返せたと云ふものだ」

金五郎は喜んでゐるうちに夜は次第に明け渡り來ると又も聞える引上げの太鼓首尾よく敵が討てたものと見ゆる

「ア、これで安心したさあともかく引き上げよう」

金五郎は自分のことの樣によろこび義士の引揚げを見送り一先づ我家へかへつて來た。

野馬追團体募集

七月十二日午前六時出發
定員　七十八
會費（晝食附）四圓
往復共自動車

尼子亭自動車部
電話六四〇番

釀造元
銘酒　**清世界**　吉
各炭鑛御用達
石城小名濱町
清水屋
小野晋平
電話六番

世界的巨編　突如

幌馬車

十二日より公開

大建國史　◇パラマウント超大作映畫　ジヤツク・ウオーレン・ケリガン…主演…幌馬車隊
砂漠橫斷・亞米利加印度の爭鬪・人類生存の一大悲詩・建國精神永遠の記錄◇

◆日活時代趣大作映畫
主演　松本泰輔　久米譲　梅村蓉子　瀬川銀潮

若き日の繁藏

侠客と云ふ集團の名の中に脅喝、强請を常とする者多き時代、此時超然として異に侠名を賣る男笹川の繁藏は狂暴無頼の主魁閻鮫の寅吉を誅して後事を義弟仁三郎に託し國越えしてからの出來事でした時文政二年春尚淺きころ……

◆日活現代超特作映畫
島耕二　瀧花久子　伊東みはる……主演

夫婦全集

睦まじい家庭である、夫を三吉と云ふ善良で仕事に眞面目な會社員妻を美那子と呼び美しい優しい奥樣、結婚して間もない彼等に夢の樣な日が續けられてゐた…が併し…運命の神樣も餘りにも靄々たるその生活を妬いてか一つの餘分な苦勞を授けた……？

料金普通　土日曜學生デー
平館　電四六六

今拾壹日ヨリ日本銀行代理店ヲ引受ケ候ニ付國庫ニ關スル事務ハ一般銀行事務ト共ニ便宜取扱申候

昭和三年七月
株式會社　**平銀行**

御中元御贈答には
使つて喜ばれ貰つて重寶な
◎商品券◎

三井呉服店

開店御披露

氣分好い食堂ができました、暑い夏の夜御散策旁々是非一度御來店の上御批評を
經營は大塚肉店故原料豐富、是非一度御試食の程を
女給數名入用

カフエー幸樂
平町六丁目電五(三九番)

三ツ矢サイダー
金線サイダー
三ツ矢シトロン

絶對安全

宮內省御用達
製造元　日本麥酒鑛泉株式會社
東京・大阪・名古屋

清涼飲料水に御注意

◇追々暑氣がますにつれて清涼飲料水の用ひ方が非常に增加いたしますが其中には衞生上甚だ危險のものが多いから特に注意して飲まないと、とんだ目にあふことがあります。

警視廳の本年初夏の調査によると

◇清涼飲料水の中で、最もよろしくないのは果實蜜使用のリモナーデやどこにもざらにあるラムネやソーダ水やいろ〳〵のかはつたサイダーなどでありましたかく

◇不良飲料水の多いのはごく簡單の機械で製造するのと工場の設備が粗末で不完全で蠅やホコリをよける設備さへないものが多いのとそれに古壜を使用することが原因となるのであります

◇是に反し三ツ矢サイダー金線サイダー三ツ矢シトロンなどの製造所はごく新式完全の殺菌洗壜機械を備へて使用壜は絶對安全の無菌清淨とし設備に於ては最も完全した工場で製造したものですからこれ以上安心の清涼飲料水は他にありません

◇一本僅か一錢か二錢の安値物のために腸胃を害し思はざる損害をうけた例が澤山ありますから御注意の上御求め下さる樣願ます

內科　小兒科　皮膚科　花柳科
平町舊城跡（城山）
青沼醫院
青沼淡夫
電話[illegible]〇三番

國産品普及宣傳
抽籤附大特賣
精工舍製腕時計セイコー
大懸賞　賞額

賞品		
一等	金壹百圓（復興債券）	五十本
二等	金五十圓（同）	百本
三等	金拾圓（同）	二百本
四等	金五圓（同）	五百本
五等	精工舍製ニッケル丸形机上時計（市價一圓五十錢）	四萬九千百五十個

賞金總額金拾萬貳千九百七拾圓也（一本も空籤なし）
特約店　**會田時計店**
平町四丁目（電話三六三番）

石城民政派の三重鎭
平劇場で檢束さる
解散命令に服せず
取調の上釋放

共産黨事件の勃發直後解散を命ぜられた舊勞農黨石城支部では其の後本部と連絡盛んに新黨組織の準備運動を續け來たつたが昨十日午後六時から新黨組織準備會主催の名を以つて平劇場に於いて磐銀休業の批判演說會を催したが同準備會が何等か劃する處あるものと睨んだ平署では特に伊藤司法主任が私服の警官數十名を率えて臨監したが午後九時頃突如不穩の決議を爲さんとした爲め伊藤臨監警部補は解散を命じたが聽衆中に混じてゐた平町辯護士山野邊美政、同安藤琢磨、吉田五平の三氏が立上り解散不當を叫んで警官に抗した爲め遂に山野邊、安藤、吉田の三氏は檢束演說會は解散せしめられた檢束された前記三氏は本署に檢束取調の上直ちに釋放されたが石城民政派の重鎭たる前記三氏の檢束は各方面に宣傳せられてゐる此の三氏檢束問題に就いて石城民政派の某巨頭は

昨夜の演說會が何を目的としてゐたが少くとも過般解散を命ぜられたる勞農黨支部の主催である以上其の目あてが分明しない筈はない然も我黨石城郡に於ける重鎭吉田、山野邊、安藤の三氏が辯士として出席檢束された結果から觀ても三氏は彼等の爲めに利用されたとも見る人があるだらうし此んな事から我石城民政黨と新黨組織準備會との間に何等かの連絡あるものと思ふ人もあるだらうが各れにしろ困つた事が出來た」云々

と語つてゐたが同準備會今後の行動に就いては平署で引續き一層嚴重な監視を爲す事となつた

舊勞農黨石城支部
宣傳法ブル化す
裡面には某有力家
今後の態度注目さる

過般解散された舊勞農黨石城支部の新黨組織準備會今後の活動に就いては平署で極力監視に努める事別項の如くであるが同準備會山代吉宗君一派が數年來當地方に於いて無産者の解散運動を續け來たつた裡面には涙ぐましい奮鬪のあつた事を假令其の行動に反感を有する人々と雖も此れを肯定してゐた即ち其の宣傳方法の如きに至つては破れたる靴双の健脚を唯一の資として謄寫版刷りの宣傳ビラを郡下隅なく配する等異主義に生くる人達ならではと其の奮鬪振りには各れも敬服してゐたが突如同準備會主催の別項演說會開催に當つては從來の宣傳方法を一變し厚味な西洋紙に美麗に印刷したる宣傳ビラを自動車數臺に分乘した會員が市內に散布してゐたが此れを目擊した山代君一派に同情を有する某氏の如きも「ブル化したる無産運動だ」と明らかに嫌忌するに至り此れを知る人々の間には山代君等に對する非難の聲高まりつゝあるが山代君等此の急激なブル化したる宣傳をなすに至つた裡面には平町某有力家が何等かの意圖から同準備會に應援してゐるのではないかと噂されてゐる

病床隨筆 □□□
坂本茂長

○蓮沼主幹足下　發病以來恰度一ヶ月を數へました先月のけふは發熱四十度を超た時節柄だけ腸チブスではないかと自分乍ら疑ひば疑ふほど、それらしい徵候がハッキリと眼に見ゆる樣で、來診して呉れた大森先生に、警察の防疫醫の派遣取計ひ方をさい懇請したほどに焦慮と苦悶の絕頂の日でありました、

それから自宅で十四日間苦るしみ通し最後に高久先生の診斷で同病院に入院し切開手術の後更らに退院するまで二週間を陰慘な病院の片隅に呻吟しました、生れて此のかた醫者の藥と云ふものを服むだことのないほど、殆むと萬病に對して免疫性に近かつた自分としては、此の一ヶ月は可成りに重い大厄でありました

○蓮沼主幹足下　平生は自分ながら呆れるほど鈍感な私でも長いこと病床に押し込められると自然と感傷的になつて、考へれば考へるほど癪に障ることや、譯けもなく涙の秘み出るほど嬉しいこと等が後からあとからと出て來ます、病床に在るものとしては甚だ不謹愼な事ではありますが、少し許り書かして此の鬱を晴らさして下さい。

身体が苦るしくなると見るもの聞くもの悉くが小癪にさわつて來る、そうすると其の飛ばつ尻りは結局家族のものに當つて行くほかやり塲所がなく、空模樣の惡いのまで當り散らす、そこで流石に痴鈍な俺れの妻も茲に一策を案じたと見え看護婦を雇つて彼れは体裁のよい責任回避の手段を講じたのであります。

○蓮沼主幹足下　南町の平看護婦會から一人の看護婦が來て呉れました、僕の想像では――從來看護婦の厄介等になつた事がないから勿論想像に過ぎぬ――當方の飯を食つて一日幾何かの給金を取る以上は、少しは眞面目らしく世話をして呉れるだろうと思つてゐた處それは飛むでもない見當違ひの事でした。

病人を扱ふのに少しの誠意も親切味もなく口に三度藥と餌を與ふるだけの御役目柄は動物園の番人と少しも違つた處がなかつた、大抵は朝から晩まで眠つて許りゐる、讀むのやら讀まないのやらゴロと橫になると必ず敎切かたに婦女界を披け初まる、そして半頁も見たかと思ふ頃にはグウー〳〵と大きなイビキを立て初まる騷ぎでした。

其の餘りに圖々しい人を喰つた態度に憤慨した僕は早速淸野さんの處に電話を以て看護婦の交代派遣を申込みその希望を容れて貰ひました。何ものにも優劣良否の別はあるにせよ一人前の看護婦として給金を取るからには、モ少し人間的な美しい純情が無ければ看護婦としての天職は勤まらぬと思ふ、之れは地下のナイチンゲールに代る淸野さんへの苦言である（盲言多謝）

思想善導の
講演會
帝大牧野博士が
來る廿一日

東京帝國大學敎授法學博士牧野英一氏は來る廿一日來平同日午後七時から舊石城郡役所に於いて思想善導の講演會に出席一大獅子吼をなす筈であるが思想の惡化愈々激しからんとするとき同博士の講演は各方面から頗る期待されてゐる

送貨頓數に現れた
炭界不況の暗影
不景氣肯定せしむる
湯本驛取扱の輸送統計

全國的に押寄せた經濟界各業界への不景氣風はひとり大都市のみならじ各町村にまでも影響をおよぼしてゐるが特に常磐炭界への暗流は石炭採掘量及その需要先の如何に依つて自とその生活を意識せしめられると炭礦從業員にとつては命を縮められる思ひがある常磐炭界の中心たる湯本驛で取扱つた石炭及貨車類に對する五、六兩月の調査報告を記すと石炭噸數（五月）五四八四八噸（六月）四九、八四〇噸貨車數五月四五〇五四車六月四〇九三車でありこの文字に依つて見れば石炭噸數は一ヶ月間で五、〇〇八噸の減少貨車の出入において四一二車の減少を見てゐる、勿論石炭は一般事業界の不景氣貨車は夏期に入つての臨時列車の增加運轉に依つてその減少を見たのではあらうが察する所炭鑛界疲勞の一つの結果と見做すことが出來よう景氣もその中に恢復するであらうが兎に角地方人の總てに對する重點である炭鑛界は當分これ等炭礦從業員の奉仕的努力に依つて一層の光を放たんことを切望して止まぬのである

東亞映畫「阪東俠客陣」

キネマ漫談

南光明のマキノ入社第一回作品「鬪合鷄」の試寫會が京都の矢尾政で行はれた時のこと日活の河部五郎や葛木香一、谷幹一、淺岡信夫などに混つて夏川靜江や入江たか子伏見直江伏見信子なんかもやつて來たがさて試寫が濟んで一同がテーブルに寄つくと直江と信子姉妹が實に勇敢によく食べる根岸東一郎と川浪良太がしきりに感心して見て居たが直江が最後に悠々とバナナを食べ終つた瞬間に川浪良太の曰く「直ちやん皮だけは食べないらしいね」

帝キネ
お盆映畫

帝キネの市川百々之助のお盆映畫は「白蛾」と決定したが其他左の新番映畫を夏期の呼物となす筈。

上島量原作脚色「大久保彥左衛門」山下秀一監督三木茂カメラ大久保彥左衛門（嵐璃德）一心太助、（松本田三郎）其他松枝鶴子、淺尾奥三郎、市川海老三郎、片岡紅三、長田芳川等出演▲京靜子原作、「からみ蔦」深川ひさし監督立花幹也カメラ、藤岡林太郎、小島洋々歌川八重子、尾崎靜子二條玉子主演

「航空四萬哩」
ユ社に入荷

今秋からメトロ映畫の配給を余れるユナイテッド支社へ其の魁として特作實寫映畫「航空四万哩」が入荷することになつた、此の映畫はリンドバーグ大佐が前人未到の大西洋橫斷大飛行を單身決行して多年の懸案を成就し且つ平和の使節として暗雲低迷せる米國支那間の外交關係を融和せしめて國民外交の實を擧げた歷史的航空記錄集である、特筆すべきは此の實寫には飛行機の父ウイルバー・ライトが一九〇八年に彼の第一機に「發動車」なつけた時の感激的な[illegible]も收められてゐる興味深い映畫である。

張作霖
一代記の映畫化

世界の話題に上つて居る近世支那の生んだ奇傑張作霖が一代の傳記な先程戰艦三笠を發表した森本プロが理修三郎脚色で「張作霖」と題して映畫化することになつた因に監督は光田比登志カメラは山川邦二張作霖は誰が扮するか未だ未定である關東は三立商店が配給する

水道增量
工事測定
茂庭博士
昨日來平

平町水道部顧問茂庭博士は昨十日來平今十一日早朝から香野水道課長と共に水源地の視察中であるが引續いて水道增量並に擴張工事の實地測定をなす筈である

高久統計講演
縣統計課長出席

縣統計課では十三日午前九時から石城郡高久村小學校において統計講演を開き附近役塲吏員、小學校敎員、統計調査員その他有志をして受講せしむるが縣からは吉田同課長が出張する

妻の實父を相手に
家宅侵入で告訴
親切な係官の情で
圓滿に解決

好間村大字平新田字畑合外保木治郎吉（三六）は昨十日妻フチヨの實父同村大字北好間字上野大河原彌三郎（五二）を相手取つて平署に家宅侵入器物毀棄の告訴を提起したので平署鈴木司法主任係り嚴重取調たが告訴の理由は

被告彌三郎は昨十日が亡妻の百ヶ日に相當する處ろから去九日午後九時頃自宅に同居する長男勝美（三四）同人妻フチ（三〇）の兩人に向つて明日は百ヶ日だから酒でも買つて置けと言付たが兩人は素知らぬ顏で笑ひ興じてゐるので遂に彌三郎は憤慨の餘吐鳴つたので若い勝美夫婦は平素靜な父の怒りに驚ろいて自宅を飛出し勝美の姉フチヨが嫁してゐる前記久保木方に逃込んだが程經て十日の午前一時頃燒酎五合を煽つた彌三郎は倅を制敗する爲めに娘の宅を訪れ倅勝美を出せと騷立てたので治郎吉が飛出し仲に入つたが狂醉してゐる彌三郎は治郎吉を突飛して家の中に躍り込んだが此の時は既に倅夫婦は姿を見せなかつたので業を煮した彌三郎は遂に手當り次第に器物をなげ付け大亂暴を働らいたものである」

と言ふが實父の言付を聽かなかつた勝美夫婦も惡るければ更らに假令多少の亂暴を働らいたにしろ妻の實父を告訴するのも穩でないと言ふので關係者一同を召喚嚴重說諭の上歸宅せしめた

例會
平銀行樓上で
講演二ツ
十三日會

平町十三日會では來る十三日平銀行樓上に於いて例會を開催するが當日は磐城炭礦病院長細谷權吉氏の「猶太民族に就」及岡部辰雄氏の「南米の話」と題する講演ある筈

死刑？無罪？
檢事は死刑求刑
判決言渡しは來十六日
注目される當日

疑問の事件として成行を注目されてゐた內郷村五人殺鈴木治八郎の判決言渡しは延期に延期を重ねて來たが結果十日午前宮城控訴院に於いて最終公判が開かれ立會の橫同檢事は立つて豫審通り死刑を求刑塚崎、北村の兩辯護士は共に無罪を主張して開廷愈々最後の判決言渡しは來る十六日と決定したが死刑か無罪か當日の判決は各方面から注目されてゐる

植田通信
逐年隆盛な
秋山商店
石城木材界に
一大革命

植田町八幡通りに秋山製材の看板を掲げて營々として事業の隆盛のために働いてゐる秋山市藏氏は若松市の舊家に生まれたる士族にして長年俸給生活を續けて來たが考ふるところあつて大正八年植田町に來たり丸二木材店について數年間製材業を研究し、昨年より同町の八幡通りに本店を置き同町澁川に製材工場を設け自ら拾數名の職工と共に働いてゐる、開業未だ日淺きにも係はらず、氏の眞面目さは地方民の信用を得氏の努力は此の事業をして益々隆盛ならしめつゝある、氏の眞面目な心持は遂に壁性の得るに至り、益々事業の隆盛を來たさせしめてゐる。殊に氏の眞面目さは契約期間を確實に守り事業開始以來、些の迷惑も需用者側にかけたる事なく秋山製材商店の信用は日毎月毎に加はりつゝ行く、時間勵行の聲あつてそれを守る人質にきれなると同樣に何業にかゝはらず契約期間の確守などといふ事は各業にあたるものの口の調子にのみ過して平然たるが常なるに反して斯くの如き眞面目な方針で進む秋山商店は年とゝもに繁雜を極め行く時代の要求に添ふものとして迎へられつゝあると

第二師團今年度の
地方馬檢査日割
本郡下は八月十日から
二十八日まで

第二師團今年度の地方馬檢査は來る八月初旬から縣內各地に於いて施行されるが本郡內の檢査日割は次の如くである

石城郡

△八月十日植田、錦△十一日山田、泉△十二日勿來△十三、四日川部、田人、荷路夫△十五日上遠野△十六日入遠野、廣野貝泊△十七日渡邊、磐崎△十八日鹿島、江名、湯本△十九日小名濱、玉川豐間△二十日平、內郷、箕輪△二十一日高久、神谷△二十二日飯野、夏井△二十三日平窪、好間△二十四日永戸、二十五日赤井△二十六日上下小川△二十七日草野、大浦△二十八日四倉、大野

今日の溫度と
明日の天候
小名濱測所發表

本日正午の氣溫七十一度六分、明日は曇り時々晴れ但し、しう雨の模樣あり

夏の座敷を涼しくする
よし簀屛風や衝立
今年の流行と市內の相場
市內商店調べ

夏のお座敷に一層の涼味を添へる葭簀屛風、衝立襖等の今年の流行は支那竹をあしらつたものが目につく、衝立の葭襖や竹襖は取代へのできるやうになつて居るので冬季には他の繪襖をはめれば年中使はれる事となる、四枚折二枚折六枚折等の屛風も竹葭といろ〳〵あるが竹は皮付のものと身のものとがあり透かし模樣等を入れたものはその姿を消してきたこれは一見凉しさうではあるが使用中その透かし部分から折れる結果であらうと思はれる竹は身を削つたものより皮付のものは耐久力があり且つ汚れても身のやうにジャムサクはならない、葭は節の部を山道や斜に並へ一種の恩樣式に見立たものが上品でよろしい普通のふすまも同樣で相場は二枚折四圓位から三十圓位まで四枚折で卅圓位から三十五圓位併し竹の皮付細編物で二十圓內外出せば相當立派な品がある。衝立は十二圓位から六十圓見當まであり普通の戸ふすまもあるがその保存なり扱ひの不便な處から大抵は京簾が代用されるやうになつて居る、卽ち一間半四枚の簾十七圓見當から四十圓內外一間四枚十九圓位から六十圓位まで小簾は一間四枚物一枚一圓から四圓五十錢一間半四枚物一枚二圓內外から二十圓內外といふ處です（市內家具店平均價）

愈々豐作
疑ひない
郡農會
大山技師談

本郡地方の田植は去月下旬に終りを告げたが今年は梅雨季に相當以上の降雨があつたゝめ例年植つけ不能を見てゐた小名方面や山間部の開墾地も植つけを濟まして一般農家のよろこびは非常なものである植つけ後の天候は大体順調だつたので直り方も良く目下早植の部南方面は一番除草の最中で病虫害の發生も例年より少くこの分で行けば豐作は疑ひないところであらうと右につき大山郡農會技師は

「これから土用までの天候次第で……溫度が高く照り込みさへすればずん〳〵カブも强る譯だから豐作に行くと思はれる目下のところ作柄は良好です」と語つてゐた

劇と映畫

幌馬車（解說）

米國建設史上に於て最も特筆すべき三大事故がある第一は北米合衆國獨立革命（一七七六年英國支配下より脫する爲め）第二は南北戰爭（一八六一年より一八六五年に亘る奴隸開放の爲め）第三は西部開拓（一八四六年頃の東部より西部への移住開拓）である此三大壯擧たる西部開拓を材題として製作されたのこそ本映畫である

其の示す所ミゾウリ洲に於て編成されし古今未曾有大幌馬車隊遙かなるオレゴン州に向ふ一ヶ年に亘る建國の爭鬪史、踏破する酷暑燒くが如き炎砂幾百里橫斷する濁流滔々たる平原の大河流血慘として面顏を背かしむ亞米利加印度人と闘ひ壯烈快哉を叫んで見るべき野牛狩の光景、添ふるに可憐なる乙女の戀、只之を一篇の敍事史とするべく餘りに偉大なる映畫である、實に之人類生存の一大悲詩であり建國的精神の永遠の記錄である

文藝原稿募集

△創作、戲曲、詩、和歌、俳句其の他文藝作品を募集す

規定

十二字詰三百行以內

磐城新聞社